



日本骨髄バンクの現状（平成 25 年 11 月末現在）

	10 月	11 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,419	2,631	440,369	597,773
患者登録者数	282	230	2,554	40,321
移植例数	117	117	—	16,317

■11 月の年齢別ドナー登録者数（現在数）

10 代	3,065 人
20 代	71,794 人
30 代	151,569 人
40 代	170,363 人
50 代	43,578 人

■11 月の 20 歳未満の登録者 223 人

注) 平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■11 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム/774 人、献血併行型集団登録会/1,739 人、集団登録会/66 人、その他/52 人

■11 月末までの末梢血幹細胞移植 (PBSCT) 累計数：30 件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」の施行について

このたび、「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」（平成 24 年法律第 90 号）の施行期日を定める政令が公布され、平成 26 年 1 月 1 日から施行されることとなりました（11 月 27 日付官報掲載）。その円滑な施行に向けて、現在、厚生労働省では省令、ガイドライン等の準備を進めており、それに基づき、当法人は「骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業」の許可申請の手続きを開始することになります。

法施行後 3 カ月間は経過措置期間ですが、それ以降は許可がないと事業を行うことが認められません。そのため、施行後 3 カ月以内に許可されることが必要です。当法人は、平成 26 年 4 月からの許可制によるあっせん事業開始に向け、省令に定める書類のほか、許可基準を満たすことを示す書類を厚生労働省へ提出するべく、現在、申請準備を進めています。

2 読売巨人軍の骨髄バンク支援&選手が東海大学病院を訪問

11月23日（土）、東京ドームで毎年恒例のファン感謝イベント「ジャイアンツファンフェスタ 2013」が開催されました。今年は骨髄バンクのロゴ入りチャリティータンブラーを販売するとともに、ドナー登録会の開催等のご支援をいただきました。当日、桃井恒和同球団社長より、当法人にチャリティーグッズの販売収益金を基にした寄附金が贈呈されました。

また、12月4日（水）、読売巨人軍の橋本到選手と鬼屋敷正人選手が東海大学附属病院を訪問、クリスマス会に参加して入院している子供たちを激励しました。選手と子供たちはそれぞれプレゼントを交換したあと、楽器の演奏やキャッチボールをして、楽しいひとときを過ごしました。

3 骨髄バンクチャリティーゴルフ大会が開催

12 月 3 日（日）、毎年恒例となった中溝裕子評議員が企画する骨髄バンクチャリティーゴルフコンペが、東京都江東区の若洲ゴルフリンクスで開催されました。参加者は約 100 名、女子プロゴルファー 17 名が参加され、好天の中、プレーを楽しみました。表彰式では、中溝評議員から骨髄移植後 17 年が経過したことが報告されました。今年も参加費の一部とチャリティーオークションの売り上げなどが骨髄バンクに寄付されました。



また、翌日の 12 月 4 日（月）、戸塚カントリー倶楽部において、毎年恒例の「第 8 回ぐるなび骨髄バンクチャリティゴルフ大会」が開催されました。本大会には、各界から大会の趣旨に賛同した約 90 名の方々が参加されました。大会後、参加者の方々からご提供いただいた豪華景品によるチャリティオークションを開催、その収益金が滝久雄大会会長から当法人へ寄付として贈呈されました。大会の様子は、年末・年始にゴルフチャンネルで紹介されます。

参加された皆様、関係者の皆様に感謝申し上げます。

4 「ドナーズネット」をリニューアルしました

12 月より、提供したドナーさん、移植を受けた患者さんの体験談等を紹介しているコミュニティサイト、ドナーズネット (<http://www.donorsnet.jp/>) をリニューアルしました。今回のリニューアルのポイントは、スマートフォンへの対応です。どの画面もスマートフォンの専用ページを用意しています。

また、骨髄バンクの YouTube チャンネルを新設、公式サイト (<http://www.jmdp.or.jp/>) 及びドナーズネットのトップページのリンクからご覧いただけます。なお、公式サイトは平成 26 年 1 月にスマートフォン対応が可能となる予定です。

5 平成 25 年度 説明員研修会の実施について(変更のお知らせ)

平成 25 年度の説明員研修会の実施日程について、マンスリー JMDP 11/15 号でご案内しましたが、中部地区の日程が以下のように変更になりました。

(変更前) 3 月 15 日(土) 13:00~15:30、名古屋能楽堂(名古屋市中区)

(変更後) 3 月 16 日(日) 13:00~15:30、名古屋能楽堂(名古屋市中区)

追って、説明員の皆様にはご案内状を送付します。

6 WMDA の認定更新に関する改善提案について

前号のマンスリー JMDP で WMDA の認定更新が認められたことを報告しました。その後、WMDA から以下の改善事項の提案がありましたので、当法人では業務執行会議のワーキンググループとして新たにプロジェクトを設置し、確認検査行程の期間短縮に向けて検討を開始する予定です。

○ドナー確認検査行程の所要日数について《WMDA の提案》

確認検査依頼から実施までの平均日数が、WMDA が奨励している期間よりも長い。よって日本骨髄バンクは海外のバンク、移植施設に対し、確認検査実施まで時間が要することを事前に知らせるべきである。

7 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は 69 施設です。



◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

- | | |
|----------|---------|
| ・採取施設 | ・移植診療科 |
| 虎の門病院 | 同左 血液内科 |
| 筑波大学附属病院 | 同左 血液内科 |
| ・採取施設 | |
| 社会保険京都病院 | |

※設備面の確認ができましたので、採取施設認定の保留が解除となりました。

新規認定施設については、当法人ホームページ>患者さんへ>移植認定病院およびドナー登録されている方へ>面談施設一覧でもご覧いただけます。

8 年末年始の休業について

本年も骨髄バンク事業において、皆様に多大なご尽力をいただきまして、誠にありがとうございます。平成 25 年 12 月 28 日(土)～平成 26 年 1 月 5 日(日)は中央事務局・地区事務局の業務を休業させていただきます。平成 25 年も残すところ、あとわずかとなりました。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

9 当法人の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に当法人事務局総務部までお申込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	12 月 20 日 (金) 17:30～ 廣瀬第 1 ビル 2 階会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

10 ドナーの方に対する「健康上の申告のお願い」について

術前健診、自己血採血などの際、ドナーの方から新たに既往歴などが申告され、骨髄等の採取が中止となる事例が報告されています。これはドナーの方から健康上の情報が申告されないままコーディネーターが進行し、採取・フォローアップ行程において判明しているものです。

このような場合、移植を待つ患者さんに多大な影響を与えるほか、万一、申告されないまま造血幹細胞提供が行われた場合にドナーの方の既往症が再燃するなど、健康上の問題が生じることも懸念されることから、ドナーの方へ送付する以下の帳票に文章を追加します。なお帳票に追加する内容につきましては、添付資料「健康上の申告のお願い」をご参照ください。

■文章追加帳票名称

- ・問診票にご記入いただく前に必ずお読みください
- ・確認検査（面談）日のご案内

11 B型肝炎ウイルス検査に関する対応について

B型肝炎ウイルス検査に関するHBc抗体陽性ドナーへの対応について、ドナー安全委員会において検討されました。

その結果、HBc抗体が陽性（1.0以上）でHBs抗体が陰性（または64倍以下）の場合は、ウイルスの存在が完全に否定できないため、現状どおりコーディネートは進めず、今後は、ドナー登録を「取消」とすることとされました。また、HBs抗原陽性のドナーも同様にドナー登録は「取消」となります。

12 ドナー適格性判定基準の項目追加・表現変更について

調整医師及び採取責任医師から、非血縁ドナーの適格性判定に関する「項目追加」、「表現変更」等のご意見をいただき、ドナー安全委員会において検討された結果、新たに下記の項目について追加・訂正することとされました（DLI含む）。

なお、B型肝炎は「ドナー適格性判定基準」により判定されるため、平成25年5月15日発行のマンスリーJMDPに合わせて配布しました「造血幹細胞提供者における感染症発生時の採取可否基準について」の「B型肝炎」の項目は削除します。各項目の詳細は別紙をご確認ください。

■項目追加・表現変更項目

- ・トキソプラズマ感染症
- ・妊娠検査
- ・ピアス
- ・体質性黄疸
- ・DLIのHb基準

13 「国際不可」の取り扱いについて（コーディネーターの方へ）

以前は国際コーディネートの採取施設が限定されていたことから、ドナーが遠方の採取施設へ出向くことができないためにコーディネート終了となる場合は、次回以降は国内コーディネートのみ対象となるよう、「国際不可」としてシステム管理していました。

現在は基本的に国内のどの施設でも国際コーディネートの採取施設となり得ることから、今後は「国際不可」でコーディネート終了とはしません。

また、システム上「国際不可」となっているドナーを解除します。

14 平成 26 年度 調整医師再委嘱手続きについて（調整医師の方へ）

調整医師の先生方へ、来年 1 月中旬以降に委嘱更新に関する書類をお送りします。ご多忙のところお手数をおかけしますが、施設長の承諾書をご返送くださいますようお願いいたします。

ここ数年、移植件数およびコーディネーター件数の増加に伴い調整医師が不足しています。新しい調整医師の先生をご紹介いただける場合は、ドナーコーディネーター部までご一報くださいますようお願いいたします。申請書等は当法人のホームページからダウンロードすることもできます。

(<http://www.jmdp.or.jp/medical/work/invitation.html>)

また、業務委託契約制度にご関心がある場合は、地区事務局またはドナーコーディネーター部までお問い合わせください。

15 連絡事項**◆骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会開催のご案内（医師の方へ）**

骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会を第 36 回日本造血細胞移植学会総会の会期中に下記日程で開催します。

<開催概要>

- ・日時：平成 26 年 3 月 8 日（土） 7：30～8：45
- ・会場：沖縄コンベンションセンター 2F 第 4 会場 会議場 B-1
- ・対象：調整医師・採取責任医師・連絡責任医師・登録医師・移植医師

※同封の別紙をご参照のうえ、ご出席の方は 1 月 10 日（金）までにご連絡をお願いします。

※メール配信ご希望の先生方にはメールでも出欠票をお送りしています。ファックスもしくはメール、いずれかの方法でご返信ください。

◆年末年始の検体保存事業の検体受付スケジュール厳守のお願い（移植施設・採取施設の医師の方へ）

前号のマンスリー JMDP でもお知らせしましたが、年末年始の検体保存事業の検体の受付スケジュールは次のとおりです。

特に年末は、発送締切日を過ぎると適切に検体を受け取れず、採血した血液が使用できなくなる可能性があるため、締切日の厳守をお願いします。

- 年末・・・12 月 20 日（金）までに東海大必着

※北海道・九州地区は 12/18（水）までに、それ以外の地区は 12/19（木）までに発送をお願いします。

- 年始・・・1 月 6 日（月）採血・発送分から受付可能

◆業務マニュアルコーディネーター編の改訂について（コーディネーターの方へ）

業務マニュアルコーディネーター編を改訂し第 3 版を発行しましたので、今号のマンスリー JMDP に同封してお送りします。

今後、運用に変更・追加等があった場合、周知される関連文書も一緒に保管してください。